

# 新年のごあいさつ

三重県中小企業団体中央会 会長 廣瀬 哲司

新年あけましておめでとうございます。

平成20年の新春を迎えるにあたり、皆様に謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

さて、昨今の経済情勢は、一層のグローバル化・情報化の進展と BRICs の急速な経済成長、また原油の高騰に端を発した資源・エネルギーに関連する原材料等の値上げなど、国際経済は急激に変化の度合いを増し、海外からの波紋を大きく受けると同時に、国内においても行財政改革に伴う各種の政策転換が社会システムの見直しを余儀なくし、企業経営をめぐる新たな社会規範が構築され、中小企業の経営面においても、その質が問われています。

そのひとつとして、食品関連における安心安全のキーワードに対する中小企業の対応の遅れなど、相次いで不適応・不対応を露呈し、ガバナンスの強化、コンプライアンス経営が中小企業者に浸透していない結果を招くなど、新たな経営課題が浮彫りとなりました。

昨年の三重県経済につきましては、全体として、回復軌道にあるものの、中小企業においては依然として厳しい状況が続いており、特に業種間、地域間の格差が拡大し、今後格差是正に向けて国・県の政策が期待されるところですが、中小企業においても生産性向上に向けて、より一層の自助努力が求められています。

急激な経営環境の変化に適応できる企業の経営倫理、適応能力の強化、業界秩序の維持など事業活動基盤再構築に係る組合の役割は従来にも増して期待されているところが大きくなっています。

今こそ、組合の価値を再認識すると同時に自信を持って、組合運営に取り組んでいただきたい時勢の到来であります。

今年は十二支最初の年「子年」です。私ども中央会といたしましては、原点に還り決意を新たに小さな一歩を着実に積み重ね、中小企業並びに中小企業組合の更なる発展のため、生産性向上による底上げと、魅力ある中小企業づくりのための経営環境整備にむけ、中央会の指導・支援体制の充実を一層図りながら、会員の皆様の多様なニーズに応えられるよう努めてまいり所存です。

最後になりましたが、本年が皆様にとって実り多い年となりますよう、そして希望の叶う飛躍の年となりますよう心よりご祈念申しあげまして、年頭のあいさつといたします。